

F Mアップルウェーブ 第116回放送番組審議会

開催日時

令和元年7月6日(土) 12:00~13:00

開催場所

土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員

委員長 石岡 徹、副委員長 鳴海 清彦
委員 佐藤 浩之、高村 智子、大西 晶子、鹿内 あかり

会社側出席者

代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美
放送部統括マネージャー:花田 由香子、チーフ:玉田 雅規

議題

- (1) 番組に対する意見要望
- (2) 次回開催日について 10月5日(土)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1) 課題番組

CAST制作『社歴史散歩』

- ① 為信について勉強することはあったが、信枚にスポットを当てた番組はめずらしく、興味深かった。マニアックな話題だった一方で信枚について知らない人にとっては具体的な功績などがわからず、賛否が分かれるのではないかと。ナビゲーター、アンカー、ゲスト計3人で進行していたが、会話が重なる部分があって聴きづらかった。
- ② 興味深いテーマの番組でマニアックな内容であった。進行がわかりにくい。出演者の紹介が中盤にあたり、テーマに沿った選曲を1曲目に持ってきた方が勢いついたのでは?と思ったり、進行・構成がちぐはぐな部分があり出鼻をくじかれた印象。進行に工夫が必要。
- ③ 会話のトーンは良く、声も聴きやすいが、会話が重なる場面が多い。信枚に関する情報が年齢順ではなくちぐはぐに突如出てくる。幼少期、青年期、と順を追って整理してほしい。
- ④ 歴史に興味を持っていないが、京都と津軽のつながりなど、歴史と絡んだ人物の背景を知ると面白いと思えるようになった。歴史好きの人には盛り上がる話題かもしれないが、わからない人が置いてけぼりになる場面があった。歴史の番組なので、なおさら時系列で話をすすめてほしい。
- ⑤ アンカーとナビゲーターが専門家のゲストの発言に話がそれるような話題をふることで、まとまりがなくなる。『社の城物語』を知っているうえで聴く分にはいいが、リスナーはそうではないことを想定して話を進めなければならない。取り上げているテーマや内容は良いものなので、ぜひうまく進めて今後も継続してほしい。
- ⑥ 順序立てて進めるべき。初めて聞く人もすんなり聴ける工夫が必要。「妄想の翼を広げよう」というテーマを設けているが、題材について知らない人は妄想が浮かばない。信枚に対する出演者の妄想部分は面白く、あちらこちらから飛んでくるような妄想は「なるほど」と思うものもあった。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載